

ベートーヴェン第九交響曲初演 200 年記念
「かがわ第九」演奏会

2024

～みんなで作ろう!!

香川の第九～

レクザムホール
大ホール

(香川県県民ホール)

11月10日(日)

開演 14:00(開場 13:00)

入場料 一般 4,000円

学生 1,000円

(高校生以下)

ベートーヴェン 交響曲第9番 二短調作品 125 〈合唱付〉

Beethoven Symphony No.9 in D minor op.125“Choral”

モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」序曲

・指揮/栗辻 聡

・独唱/ソプラノ 高橋 薫子

アルト 山下 牧子

テノール 上原 正敏

バリトン 佐野 正一

・管弦楽/関西フィルハーモニー管弦楽団

・合唱/香川第九合唱団 他

■主催/香川第九実行委員会

■共催/高松市、関西フィルハーモニー管弦楽団

■後援/香川県、高松市教育委員会、観音寺市、さぬき市、三豊市、

朝日新聞高松総局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、

FM香川、FM815、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、

TSCテレビせとうち、産経新聞社、四国新聞社、

毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、高松リビング新聞社、

ナイスタウン出版、全日本「第九を歌う会」連合会、

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル、

香川日独協会



チケット取扱所/レクザムホール、サンポートホール、志度源内ホール、ハイスタッフホール、アイレックス等県内各ホール
ヤマハミュージック、イオン各店、ゆめタウン各店、県生協等県内各プレイガイド

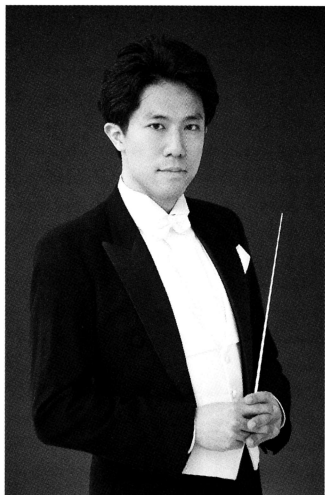
お問合せ先/香川第九実行委員会 〒761-0302 香川県高松市上林町 495 中西久米子方 090-3789-8869

イラストレーション
香川県立高松工芸高等学校
3年デザイン科 藤澤 優里

出演者プロフィール

指揮者

アツジ ソウ
栗辻 聡



2015年、第6回プロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第2位を受賞し、一躍注目を浴びる。2011年、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻を首席で卒業し、音楽学部賞並びに京都音楽協会賞を受賞。その後、オーストリア国立グラーツ芸術大学大学院オーケストラ指揮科、スイス国立チューリッヒ芸術大学大学院指揮科を首席で卒業。在学中には、数々のオペラ公演やオーケストラ公演を指揮した。

これまでに、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団、マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団、フラデッツ・クラロウヴェ・フィルハーモニー管弦楽団、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥール、バート・ライヒエンハル・フィルハーモニー管弦楽団、聖クリストファー室内合奏団、ルーセ・フィルハーモニー管弦楽団、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、山形交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、オーケストラ・ジャパン等を指揮している。オペラの分野では、「ラ・ボエーム」、「アドリアーナ・ルクヴール」、「夕鶴」、「ドン・ジョヴァンニ」、「魔笛」「コジ・ファン・トゥッテ」等を指揮し好評を博す。

これまでに指揮を、秋山和慶、尾高忠明、増井信貴、谷野里香、マルティン・ジークハルト、ヨハネス・シュレーフリの各氏に、オペラ指揮法をウォルフガング・ボジチ氏に師事。指揮講習会においてベルナルト・ハイティンク、デイヴィッド・ジンマン、エサペッカ・サロネン、アンドリス・ボーガ、鄭致溶、井上道義、湯浅勇治、飯森範親、沼尻竜典、下野竜也の各氏から指導を受ける。

ムジカA国際音楽協会会員、公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽奨学生、2012年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション音楽奨学生。第28回京都芸術祭音楽部門亀岡市長賞受賞。

奈良フィルハーモニー管弦楽団正指揮者、奈良フィルハーモニー混声合唱団指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師。

ソリスト

ソプラノ
タカハシ
高橋 薫子



国立音楽大学卒業。同大学院オペラ科修了。文化庁オペラ研修所第七期生修了。

'90イタリア声楽コンクール・シエナ大賞受賞。没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールでアンナ・ゴットリーブ賞を受賞しウィーンフィルと共演。同年、藤原歌劇団公演「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナ役で本格的デビューを飾った。その後第2回五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞。これを受け'91より'93までイタリア・ミラノに留学。各地で多数のコンサートに出演。帰国後、藤原歌劇団公演「ルチア」のタイトルロールを急遽代役で歌い絶賛を博したほか、「セブリアの理髪師」「愛の妙薬」「ラ・ボエーム」「夢遊病の女」「夕鶴」等のオペラの他、リサイタル、第九や宗教曲などオーケストラとの共演も多い。新国立劇場へは「魔笛」「沈黙」「鹿鳴館」他に出演し、すべての演目に高い評価を得るなど着実にレパートリーを拡げている。ジロー・オペラ新人賞、村松賞、モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、よんでん芸術文化奨励賞、ホテルオークラ音楽賞、香川県文化芸術選奨受賞。藤原歌劇団団員。国立音楽大学客員教授、東京藝術大学講師。

アルト
ヤマシタ
山下 牧子



広島大学を経て東京藝術大学大学院に学ぶ。第1回東京音楽コンクール第1位。

第72・73回日本音楽コンクール共に第3位入賞。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞、令和元年度香川県文化芸術選奨受賞。

これまでに二期会、新国立劇場を中心に、「ジュリアス・シーザー」タイトルロール、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、「イドメネオ」イダマンテ、「カルメン」タイトルロール、「死の都」ブリギッタ、「サロメ」ヘロディアス等を演じ、近年も二期会「トリスタンとイゾルデ」ブランゲーネや新国立劇場「蝶々夫人」スズキで好評を博している。また、堅実なテクニックに裏付けされた端正な歌唱はコンサートでも高く評価され、「第九」「メサイヤ」を始めマラー「復活」やロッシーニ「スタバト・マーテル」、「ヴェルディ」「レクイエム」などで活躍している。二期会会員。沖縄県立芸術大学音楽学部教授。

テノール
ウエハラ
上原 正敏



国立音楽大学大学院声楽科修了。声種はリリコレツジェーロ。デビュー時に甘い声と高音を苦としない長身のテノールとして注目される。1992年からイタリア留学。ミラノや近郊都市にてコンサート、オペラに出演し、その後、さまざまな国際コンクールにて1位及び入賞になったのをきっかけに、ボローニャ歌劇場、アレナ・ディ・ヴェローナ、ハンガリー国立歌劇場、オルデンブルグ市立劇場、二期会、関西二期会などにてさまざまなオペラに主演、またコンサートのソリストとしても活躍中。

大須賀恵里女史とCD大人のための童謡集「赤い靴」をリリース。雑誌等にも取り上げられ好評である。1989年ニッカオペラ新人賞受賞、五島記念文化財団オペラ賞受賞。二期会会員。

バリトン
サノ
佐野 正一



東京藝術大学声楽科卒業。卒業時、宮中の桃華楽堂にて御前演奏を行う。同大学院独唱科修了。日伊声楽コンクール及び日仏声楽コンクール第2位入賞。日本音楽コンクール二度入賞。奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞。長年、数多くのオペラ、コンサート、宗教曲のソリスト、合唱指導者、ヴォイストレーナーとして活躍する。オペラにおいては、宮本亜門初オペラ演出「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ、小澤征爾指揮「フィガロの結婚」(抜粋)フィガロ、黛敏郎作曲「金閣寺」(日本初演)、市川右近演出「撒羅米」、日生劇場「ルル」(日本初演)等、話題になった公演にも出演。海外公演では、NYのカーネギー・ホール5回、ウィーンの楽友協会3回、プラハのスメタナホール2回他、計18回『感動の第九』のソリストとして出演。(公財)日本青少年文化センターの活動にも参加し、28年にわたり、全国の小中学校でのコンサートも行っている。NHK・FM土曜リサイタル、名曲リサイタル、題名のない音楽会に出演。現在、日伊音楽協会、日本フォーレ協会、日本声楽アカデミー、日本演奏連盟、東京二期会、各会員、尚美学園大学、聖徳大学兼任講師、さいたまシティオペラ副会長。

関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年ヴェイエル室内合奏団として発足。後にヴェイエル・フィルハーモニックと改称、海外演奏旅行を含め12年間にわたるオーケストラ活動を基盤に、1982年関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。1994年より国際的に活躍するウリ・マイヤーが常任指揮者に就任し、平成6年度大阪文化祭賞本賞を受賞した。

特定非営利活動法人、認定NPO法人を経て2018年に公益財団法人として生まれ変わり、関西を代表するオーケストラの一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。2020年に楽団創立50周年を迎えた。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが音楽監督に、藤岡幸夫が首席指揮者に、鈴木優人が首席客演指揮者に就任している。故飯守泰次郎(2023年8月没)は01年より常任指揮者、11年より桂冠名誉指揮者を務めた。

人間の営みから生まれた音楽「ヒューマニズム」をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開。また、東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。演者と聴衆、舞台と客席、垣根を越えての交流を図り、関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。クラシック音楽の裾野を広げる活動など、明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。

2015年に楽団初の欧州公演(合計5公演)を開催、2023年10月には3カ国3都市を巡る第2回欧州公演を開催、各地で大きな注目を集めた。

現在、BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8時半)に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/> X(旧Twitter) アカウント @kansaiphil

